

水稻奨励品種「東北160号」

農業センター・古川農業試験場

1 取り上げた理由

宮城県では，“中生の晩”である「ひとめぼれ」「ササニシキ」でうるち品種作付面積の90%以上を占めており，障害型冷害に対する危険分散と熟期の異なる品種との組合せによる刈取適期幅の拡大が課題となっている。平成8年に南部平坦地帯の作付けを中心とした“晩生の晩”「ゆめむすび」を採用したが，本県作付面積の約80%を占める北部平坦地帯及び仙台湾沿岸地帯の生産安定化を図るためには，“晩生の早”品種の導入が要望されている。

水稻奨励品種決定調査の結果，品質，食味がともに良好で，耐冷性，耐病性に優れる，“晩生の早”の「東北160号」が奨励品種に指定されたので，普及技術とする。

2 普及技術

1) 来歴

「東北160号」は，宮城県古川農業試験場において，晩生の耐病耐冷，良質良食味品種を目標とし，「中部73号」を母，「東北143号」（後の「ひとめぼれ」）を父として，平成元年4月に人工交配を行い，その後代から育成した系統である。平成7年度から本県に配布され，奨励品種決定調査で検討されてきたものである。

2) 特性の概要

- a 出穂期及び成熟期は「ひとめぼれ」と「ゆめむすび」の中間で，“晩生の早”である。
- b 草型は“中間型”で，耐倒伏性は「ひとめぼれ」より強い“やや強”である。
- c 障害型耐冷性は「ひとめぼれ」並みの“極強”である。
- d いもち病真性抵抗性遺伝子型は“*Pi-t*”と推定され，圃場抵抗性は葉いもち，穂いもちともに「ひとめぼれ」より強い“強”である。
- e 玄米千粒重は「ひとめぼれ」並みで，収量性は「ひとめぼれ」に近い。
- f 玄米品質は良好で，食味は「ひとめぼれ」と同等である。

3) 対象地域等

- a 普及見込み地帯 北部平坦地帯及び仙台湾沿岸地帯
- b 普及見込み面積 4,000ha



3 利活用の留意点

- 1) 穂数確保がやや難しいので，生育量を早期に確保する。
- 2) 追肥時期は幼穂形成期を基準とする。ただし，稈長が「ひとめぼれ」並みなので施用量に留意する。
- 3) 白葉枯病抵抗性が“やや弱”なので，常発地では栽培を避ける。

（ 問い合わせ先：農業センター農産部 電話022-383-8246
古川農業試験場栽培部 0229-26-5100 ）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

農業センター農産部 水稻奨励品種決定に関する試験 平成7年度～10年度
 古川農業試験場栽培部 主要農作物の地帯別奨励品種決定調査 平成7年度～10年度

2) 参考データ

表-1 特性一覧

| 系 統 名 | 東北160号 | | | 交配組合せ | | 中部73号／東北143号,ひとめぼれ | |
|-----------------------|---|-------------|-------------|-----------------|------------|--------------------|--|
| 特 性 | 長所 1 晩生の早である。 2 品質,食味が良い。 3 耐冷性が強い。 4 いもち病に強い。 5 耐倒伏性が強い。 6 穂発芽性が難である。 | | | 短所 1 白葉枯病にやや弱い。 | | | |
| 調 査 地 | 宮城県農業センター | | | | 宮城県古川農業試験場 | | |
| 調 査 年 次 | 平成7年～10年 | | | | | | |
| 系 統 名・品 種 名 | 東北160号 | ひとめぼれ | ゆめむすび | 東北160号 | ひとめぼれ | | |
| 早 晩 性 | 晩生の早 | 中生の晩 | 晩生の晩 | 晩生の早 | 中生の晩 | | |
| 草 型 | 中間型 | 偏穂数型 | 中間型 | 中間型 | 偏穂数型 | | |
| 出穂期(月日) | 8.10 | 8.6 | 8.14 | 8.13 | 8.10 | | |
| 成熟期(月日) | 9.19 | 9.16 | 9.25 | 9.27 | 9.22 | | |
| 稈長(cm) | 80.0 | 80.5 | 74.1 | 77.8 | 77.3 | | |
| 穂長(cm) | 18.8 | 18.4 | 16.4 | 19.0 | 18.1 | | |
| 穂数(本/m ²) | 381 | 433 | 363 | 373 | 411 | | |
| 耐倒伏性 | やや強 | 中 | 強 | やや強 | 中 | | |
| 穂発芽性※ | 難 | 難 | やや易 | — | — | | |
| 耐冷性※ | 極強 | 極強 | 弱 | — | — | | |
| 耐病性 | いもち病※ | <i>Pi-i</i> | <i>Pi-i</i> | <i>Pi-i</i> | — | — | |
| | 真性葉穂※ | 強 | やや弱 | 中 | — | — | |
| | 白葉枯病※ | 強 | 中 | やや強 | — | — | |
| | やや弱 | やや弱 | やや強 | — | — | | |
| 玄米収量(kg/a) | 47.8 | 51.5 | 48.2 | 56.1 | 55.8 | | |
| 玄米収量対比(%) | 92 | (100) | 93 | 100 | (100) | | |
| 玄米千粒重(g) | 23.2 | 22.8 | 24.3 | 22.5 | 22.3 | | |
| 玄米品質 | 上中 | 上中 | 上下 | 上下 | 上中 | | |
| 食 味 | 上中 | 上中 | 上中 | 上中 | 上中 | | |

注) ※印は、育成地及び特性検定地における評価を用いた。

表-2 奨励品種決定調査成績の総括

ひとめぼれとの比較

| 出穂期(日) | 成熟期(日) | 稈長(cm) | 穂長(cm) | 穂数比(%) | 玄米重比(%) | 玄米千粒重(g) | 倒伏の多少 | 病害等の多少 | いもち病 | 紋枯病 | 玄米品質 |
|--------|--------|--------|--------|--------|---------|----------|-------|--------|------|------|------|
| +3.9 | +5.4 | +0.7 | +0.8 | 88 | 97 | +0.2 | -0.5 | -0.1 | +0.0 | +0.0 | -0.7 |

注) 農業センター,古川農業試験場及び現地調査の累年調査成績による。

穂数比及び玄米重比:ひとめぼれ基準の百分比。

符号:“+”は,東北160号が遅い,長い,重い,多い,良いことを表す。

倒伏及び病害等の多少:“無”~“甚”を0~5のランクに変換した数値に基づき算出。

玄米品質:“下下”~“上上”を1~9のランクに変換した数値に基づき算出。

3) 発表論文等

平成10年度東北農業研究成果情報